



夏越の祓 (なごしのはらえ)

時のすぎるのはとても早く、気が付けば今年も「折り返しの月」となりました。毎年、「6月30日」に半年の間に溜まった心身の穢れや厄を祓い落とし、残りの半年の無病息災を祈願する「夏越の祓」と言う神事が行われます。代表的な行事として、神社の鳥居や境内にチガヤなどの植物で作られた、人の背丈よりも高い大きな輪を設け、そこをくぐることで、1年の前半の厄除け、家内安全を祈願する「茅の輪くぐり」があります。「人形流し」は、人の形をした紙に名前や年齢を書き、体をなでたり、息を吹きかけたりして自分の厄を移し、川や海に流したり、神社でお焚き上げをしてもらいます。

「夏越の祓」の日に食べる伝統的な和菓子として「水無月 (みなづき)」があります。氷を模した「白い外郎 (ういろう) の生地」の上に魔除けの意味を持つ「小豆 (あずき)」をのせた三角形のお菓子です。「夏越の祓」が過ぎると本格的な夏が到来し、「今年の夏も暑く」なりそうです。2026年より「最高気温が40℃以上になる日」を気象庁によって新たに「酷暑日 (こくしょび)」と定義され、「命の危険を伴う極端な暑さ」への警戒を呼び掛けるため、天気予報などで正式に運用されます。日頃より「適正に水分」を取って、「暑さを避けて」元気に夏を乗り越えましょう。



今年も暑く
命の危険を伴う極端な暑さ
適正に水分
暑さを避けて
ハヤカワ歯科 院長 早川琢郎

超音波スケーラーによる歯石除去について

「歯石」は沈着してから時間がたてば経つほど「無機質の成分」が多くなり、「固着力」が強くなり、「硬さ」も固くなり、除去しにくくなり、「歯周病」も進行します。患者さんそれぞれの「口腔内の状況」に応じて定期的に「歯石になる前のプラーク」や「柔らかい歯石」を取ることで、「歯石」が楽にとることが出来、「歯周病」の進行も食い止めることが出来ます。そのことから、ハヤカワ歯科では、「定期的にプラークおよび歯石除去を中心としたメンテナンスと歯周ポケット内薬剤注入療法」をお勧めしています。

「歯石の除去」は「スケーラー」という器具で行います。「スケーラー」には、「手用スケーラー」と「超音波スケーラー」があります。「超音波スケーラー」は「超音波」という非常に短い周波の波動を「機械的な微振動」に変換し、「歯石」という固い沈着物を揺さぶり崩すようにして剥がしていきます。この「微振動」は本体の先に取り付けた1秒間に約3万回動いている「超音波チップ」によって「プラークや歯石」に作用します。ですから、「超音波の高速振動」と「水流と超音波で発生する微細な気泡が弾けるエネルギー (キャビテーション効果)」により、「歯」を削らず、「歯肉」を傷つけることなく「広範囲の頑固な汚れ」を効率的に浮かし落とせます。また、「超音波チップ」の性能によって、「歯を傷めず」、「痛くなく」、「能率的に歯石除去」ができるかが決まります。ハヤカワ歯科では、業界トップの技術を持つ「錦部製作所」の「超音波チップ」を使用しています。



6月のお知らせ

- 「ハヤカワ歯科のホームページ」では、「当院の診療方針」や「ハヤカワ歯科インフォメーション」のバックナンバーを掲載しています。これからも、皆様のお役に立つ情報の提供と内容の充実に努めてまいります。

<http://www.hayakawashika.com/> 「ハヤカワ歯科松戸市小金原」
検索をお願いいたします。

- 「小児の歯並び」「咬合育成」「口腔機能向上」のご相談、治療、トレーニングについて随時受け付けております。

日曜診療日 (9時～13時30分)

6月14日、28日 / 7月12日、26日